

022

# 我が町・横浜の近代化の足跡をたどる

## 新田開発、黒船来航、鉄道開業の3大イベントを探る

## 講座内容

かつてナマコ漁主体の人口500人弱の一寒漁村であった横浜が、今や東京に次ぐ日本第2位の大都市に発展した草創期の背景を探ります。これには、①新田開発、②黒船来航、③鉄道開業 等都市インフラ整備の3つが指摘出来ます。新田開発では、沿岸部のみならず内陸部の開発状況を探るほか、世界の先物取引の嚆矢となったわが国のコメの先物市場化の歴史を振り返ります。また、黒船来港では、ペリー一行の横浜港上陸時の日米交渉の様態を探ります。そして、鉄道開業では、明治初期の都市インフラ整備に貢献した「横浜の怪物」と称される高島嘉右衛門について、具体的な動きとその背景を、歴史上の記録に基づき確認します。最後に、NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」でも取り上げられた「二俣川の戦い」に纏わる、旭区内の史蹟(首塚、遺烈碑等)をご紹介します。

期 間	7月5日～7月26日	受講料	10,000円
曜 日	土曜日	定 員	30名
時 間	10:00～11:30	会 場	横浜・関内キャンパス
回 数	全4回	持ち物	筆記用具
教 材	講師が毎回資料を用意します。		

## 講座スケジュール

回数	日 程	内 容
1	7月 5日 (土)	<b>新田開発の歴史とコメの世界初の先物商品化の歴史を探る</b> 1600年代から始まった吉田新田等横浜の新田開発(少なくとも15か所)の歴史と、その背景を探る。加えて、「コメ」の商品化と、これに伴う世界史上初の「先物取引」が我が国で行われることとなった動きと仕組みを振り返ります。また、世界初の「堂島」先物取引がHarvard Univ. 講座で取り上げられていることをご紹介します。
2	7月12日 (土)	<b>黒船来航とペリーの見た日本</b> 1853～54年と、ペリーが久里浜、横浜に来航。当時の日米交渉の様態と、相互の豪華な饗宴の様態を、ペリーの米国政府宛て公式出張報告「ペリル提督日本遠征記」に基づき探ります。具体的には、ペリー持参の幕府宛て第13代大統領ミラドのPresident Letterの要求内容、横浜での日米饗宴の様態、ペリーの横浜・下田での民情視察の様態等をご紹介します。最後に、1945年9月2日、戦艦ミズーリ号甲板上で、日本降伏文書調印にまつわるマッカーサーとペリーの関連を探ります。
3	7月19日 (土)	<b>横浜の怪物～高島嘉右衛門</b> 近代横浜発展に不可欠であった都市インフラストラクチャー整備に向けた、高島嘉右衛門の足跡を、史実に基づきお話しします。具体的には、①鉄道開業、②都市ガス点灯、③上・下水道整備、④外国語学校設立、⑤北海道開拓等につき、その奮闘ぶりを「汐留・品川・桜木町駅百年史」や太政官日誌等を探ります。
4	7月26日 (土)	<b>二俣川の戦いと畠山重忠～東鑑にみる</b> 2022年、NHK「鎌倉殿の13人」で放送された「二俣川の戦い」関連のお話しです。横浜市旭区には、「畠山重忠遺烈碑(明治25年建立)」や「畠山重忠公碑(昭和30年建立)」が存在する。これらは、白文で刻まれている。これを現代文に訳し、当時の村民の重忠に対する心情を探ります。また、重忠は、明治15年宮内省編纂の修身の教科書「幼学綱要」にも取り上げられ、全国の子供たちの道徳教育の対象人物ともなっていました。この中で、重忠が如何に記述されているかを取り上げます。

## 講師紹介



## 加藤 明彦(かとう あきひこ)

旭区生涯学習アドバイザー

3年前、仕事が一段落したのを機に、地域活動に関心がある人に向けて行われる旭区役所主催の「旭みらい塾」に参加。以来、横浜の歴史や、職業経験をもとにした「お金のはなし」を、市内各所で行っています。日本銀行勤務後、金融機関役員や上場企業取締役を務めた。